



# えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

平成31年度  
4月号  
江古田小学校  
児童数 423名  
TEL 3385-0411

学校の教育目標◎かंगाえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)  
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



## 新しい時代の息吹、希望の春

校長 松井 貴子

陽光が柔らかく、校庭では桜の花をはじめとした花が咲き、生命の息吹を感じる季節となりました。

平成31年度、中野区立江古田小学校第32代校長を拝命いたしました松井貴子です。どうぞよろしく申し上げます。

本日は、お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。平成31年度がスタートしました。中野区立江古田小学校は、本日88名の一年生を迎え、児童総数423名、全校14学級編成で出発しました。子どもたちは、新しい学年を迎え、喜びと希望に胸をふくらませていることと思います。

本校は、学制発布を受け、地域の願いにより明治6年、従来の寺子屋を法に基づいて小学家塾として、東京府庁へ出願し、東福寺住職者田亮意氏により筆学を中心に学習を進めたそうです。その後、明治15年に「遷喬小学校」として開校、現在138年の伝統ある学校です。明治、大正、昭和、平成、そして本年度は、5月1日に「令和」と改元し、新しい時代を迎えます。これまでの歴史に誇りをもちつつ、地域・保護者の皆様のご支援を賜り、地域とともに新しい時代が求める学校を創造したいと存じます。

### 本校の教育目標

◎かंगाえる子ども【知】○やさしい子ども【徳】○たくましい子ども【体】  
目指す児童の姿

【知】自分の考えをもち、進んで実行する子

【徳】人を思いやり、心の豊かな子

【体】命を大事にし、健康な心と体をつくる子

さて、今年度も重点教育目標は「かंगाえる子ども」です。子どもたちが自分のよさを伸ばしていくためには、自分の考えをもち、学び続ける実行力や進んで挑戦するたくましさを育成することが大切であると考えます。そのために、言葉の力を磨き、思考を深め、判断力や表現力を培ってまいります。

また、人を思いやる優しさや想像力を働かせることで、よりよい判断ができ、よい行動が生み出されると思います。学び合うことが楽しい学級・学校の雰囲気醸成が必要であると考えます。そのために、身近な大人がモデルとなり、人権尊重の教育を基盤として、安心・安全で、学び合う温かな人間関係を培っていききたいと存じます。

目指す学校の姿は「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」です。その実現に向け、教職員一同「チーム江古田小」として力を尽くしてまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



## 平成31年度 中野区立江古田小学校経営方針

校長 松井 貴子

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

### 1 はじめに

平成30年3月8日中央教育審議会第3期教育振興基本計画について（答申）では、2030年以降の社会では、個人においては「自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新しい価値を創造すること」が示されています。また、社会においては「一人ひとりが活躍し、豊かに安心して暮らせる社会の実現」が求められています。

そのために学校では、教育の不易と流行を鑑みつつ、主体的に学習に取り組む態度、自ら学ぶという学習習慣を身に付けること、個性を生かす教育を充実させること、生涯にわたって「学び続ける力」の基盤を培うこと等が一層求められていくととらえています。小学校では特に教育目標にある「知」「徳」「体」をバランスよく伸ばし、主体的な学びを確立することが重要であると考えます。

きたる令和の時代を創造していく「地域の宝」である、お子様の健やかでたくましい成長に向け、目指す学校像「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりのよさが発揮できる学校」とし、その実現を図りたいと存じます。児童が笑顔で挑戦し、一人ひとりのよさが発揮できるように、まずは安全・安心、そして、学びを支える人間関係構築力を高めることが大事です。

そのための第一歩は、元気に誰とでも挨拶できる児童、教員集団になることだと思います。そして、地域社会の中で活躍の機会を生かし、伸びやかに社会性を身に付けていく体験をすることです。皆様と学校と地域とが力を合わせ、明るい元気な挨拶いっぱいの学校にすることに、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

また、時代がどのように変化しようとも、「自ら学び、考え、判断し行動できる、しなやかでたくましい人材」の育成が求められます。その実現には、子どもたちの身近な存在である親や教師、そして人生の先輩である地域の大人が、よきモデルとしての姿を示し続けることが不可欠だと考えます。子どもたちは、言われたことよりも、目の前の大人の姿を見て育ちます。「安全・安心、学びあい（会い・合い・愛）」を合言葉に、子どもたちのことを第一に考え、関わる全ての人々の学び続ける力を伸ばし、幸せな人生を築いていけることが私の願いです。

平成30年・31年度東京都人権尊重教育推進の指定校を受け、人権尊重の理念を十分に理解し、「聴く力」や「言葉の力」を着実に身に付けることを積み重ね、人権教育を推進しております。言葉は、児童の学習活動を支えるものであり、人間関係をつくる大切な力となります。子ども一人ひとりが「言葉の力」を着実に身に付けることができるように、本年度も重点として取り組んでまいります。

教職員一同、多様性を活力に「チーム江古田小」として、協働して教育活動を展開し、温かい環境の下、子どもたちをしなやかでたくましい人材として育ていけるように力を尽くしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 2 学校経営方針とその具現化に向けて

〔経営目標〕 開校 138 年の伝統校として、新しい時代が求める学校を創造する

〔学校教育目標〕 人権尊重の教育を基盤とし、豊かな心とたくましい生きる力をもち、生涯にわたって学び続ける意欲と態度をもった児童を育成する。

◎ かんがえる子ども【知】 ○ やさしい子ども【徳】 ○ たくましい子ども【体】

〔目指す子どもの姿〕

【知】 自分の考えをもち、進んで実行する子

【徳】 人を思いやり、心の豊かな子

【体】 命を大事にし、健康な心と体をつくる子



〔目指す学校像〕

主体的な学びの確立

元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校

〔目指す学校像に迫るための学校が果たす役割〕

○ 挨拶が響き、笑顔と挑戦意欲あふれる学校

- ・ 一つ一つの言葉を大切に、全ての教科等における資質及び能力や学習の基盤となる「言葉の力」を高めることができるようにする。
- ・ 児童に、知・徳・体のバランスのとれた「生きて働く力」を身に付けることができるようにする。
- ・ 児童に、学びの主体者としての基礎を培う。

○ 問題解決に向けて具体的方策を考え、成果を意識して取り組む学校

- ・ 校内における協働体制を充実させ、「チーム江古田小」として組織的に対応する。
- ・ 児童の実態をデータ等の根拠をもとに分析、喫緊の教育課題、学校評価等から明らかになった課題の解決に向けて、具体策を考え、成果を意識して取り組む。

○ 家庭・地域及び大学や企業も含めた教育関係機関との「共育」活動を推進、よりよい行動連携として活性化し、信頼される学校

- ・ よりよい社会をつくるという目標のもと、教育課程を介して地域社会とつながる開かれた学校づくりを目指し、家庭、地域及び学校が一体となって児童を育てる。
- ・ 伝統や地域性・多様性を活力とし「安全・安心、学びあい」を意識して、協働して創意ある教育活動を展開する。
- ・ 児童の成長、教育の成果を示すとともに説明責任を果たし、信頼される学校をつくる。